



辰野町 議会だより



Tatsuno Town
Council News

～24年度健全財政で推移～
次なる課題は…

第51号
平成25年(2013年)
11月1日



辰野町総合防災訓練



両小野学園視察研修

今号の記事

- ◎ 9月議会決算審査特集
- ◎ 条例審査・請願審査
- ◎ 委員会審査
- ◎ 常任委員会レポート
- ◎ 25年度一般会計補正予算質疑応答
- ◎ 議会活性化活動
- ◎ 臨時議会

委員会審査から

総務産業常任委員会

- 平成24年度一般会計決算審査・特別会計等決算審査
- 条例審査
- 請願審査
- 議員発議意見書
- 要望書
- 現場視察



●一般会計決算審査

9月2日開会された9月定例議会において、24年度一般会計の歳入全部と歳出の内、議会費、総務費、衛生費の内水道費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費について審査を行い認定しました。

歳入

一般会計決算は前年に比較し0.1%335万円の減少となっております。町税については前年比3、725万円の減となり固定資産税、たばこ税の減少等が目立ち依然厳しい財政状況が続いています。一般会計各基金への積み立ては1億8,900万円増加し総額29億2,200万円となり、特別会計5億7千万円と合わせて34億円余と健全財政が維持されています。今後財政指標に目立つ懸念の材料はなく安定した財政運営で推移するものと評価しました。

歳出

■議会費（構成比12%）

議会運営に要する経費が主なもので前年度より1,236万円の減となっております。

質問 議員共済年金徴収分の支払い状況は。

答弁 2,225万円が議会経費より支払いされており当分続く。

■総務費（構成比16・7%）

前年より3億2029万円増、執行率95・6%となっております。

一般管理費、財産管理費、防災事務費、町営バス運行費等が主なものです。

質問 通信運搬費において、区に加入しない人についてのどの用に対処しているか。

答弁 区を通じて配布を依頼するか、コンビニに取りに行く方法で対応している。
質問 職員自己啓発助成金が9万3千円と少ないのでは。

答弁 1万円以内の2/3助成で24年度は10名が対象となった。コンサルタント

をお願いし人事評価及び職員研修を実施しており当面十分である。

質問 賃借料中の町長車リースの内訳は。

答弁 オイル交換、メンテナンス、タイヤ交換等のリース料である。

質問 情報通信事業における使用料及び賃借料の大幅増の理由は。

答弁 SBCのシステム賃借料、基幹ネットの機器賃借料、CATV伝送路周波数賃借料等の費用が主なものであり前年より増加している。

質問 長野県地方税滞納整理機構負担金109万円についての内容とその効果は。

答弁 町村別対応件数は、7件に指定されて1件当たり16万7千円で現在運営されている。辰野町では7件中5件の処理ができ効果は上がっており、滞納処理業務が効果的に進んでいる。

■衛生費のうち水道費（構成比0.4%）

負担金・補助金、交付金、及び各簡易水道への繰り出

し金で、24年度は小野藤沢地区水源探査、鴻の田簡水配水管整備等が新規の事業です。

■農林水産業費（構成比3.7%）

前年より2,833万円の増で、農業振興費、国庫補助土地改良費、中山間地域等直接支払い事業費、林業事業費、林道西部線整備工事費等が主体です。

質問 新規就農者インターン事業をもっと多数の人に活用しては。

答弁 JAと町が1/2ずつの折半で支出しており、JAとの相談が必要である。

質問 農業振興上、堆肥を継続して供給することは、重要だと考えるが、土づくりセンターの今後の運営方針は。

答弁 地元での堆肥用材料供給が難しく、施設も老朽化がすすみ、今後の検討が必要である。

質問 松食い虫の防御について、隣の町や村まで被害がせまっており予防や対策の実態は。



ほたる童謡公園水路改修

【答弁】 現状では、監視のみになっている。

【意見】 拡大は時間の問題であり、今後の対応策を早急に検討されたい。

【質問】 有害鳥獣駆除依頼のルートと、町としてのシステム化は出来ているか。

【答弁】 地域が主体となって協同して実施している。また、駆除後の処理が大変なためその対策が課題である。

■ 商工費（構成比 2%）
 前年度より 2, 985 万円
 円の減となり、ほたる童謡公園工事請負費 1 号水路改修 739 万円が新規に実施した工事です。

【質問】 ほたるの継続発生に向け引き続き力を注ぐべき。

【答弁】 第 4 期計画の後期構想のなかで検討を進めて行きたい。

■ 土木費（構成比 98%）
 前年より 1, 008 万円増となり土木管理費、道路橋りょう費、河川費、都市計画費、住宅費が主なものです。

【意見】 荒神山公園の今後の方向性について、まちづくり政策課を中心に早期に実現するよう提案し、町長に要望書として提出しました。

■ 消防費（構成比 4.7%）
 前年度より 5, 129 万円

の増加で、耐震性貯水槽新設及び消火栓の整備・移転工事、消防車 2 台の更新が新規事業となっています。

【質問】 消火栓や耐震性貯水槽の設置順番の決め方は。

【答弁】 区の要望と水利の状態を判断し順番を決定している。

■ 災害復旧費（構成比 0.5%）
 前年より 3, 913 万円

の減であり、羽場下井頭首口復旧工事、林道ぬるで沢復旧工事、林道柳沢線復旧工事が主な工事です。

■ 公債費（構成比 9%）
 前年より 6, 391 万円の減となり、長期債の元金や利子償還です。

特別会計決算審査

- 上水道事業会計
- 簡易水道特別会計
- 小野簡易水道特別会計
- 公共下水道特別会計
- 特定環境保全
 公共下水道特別会計
- 農業集落排水処理施設
 特別会計

以上 6 会計共に特に問題はなく、農業集落排水処理施設は汚泥処理を民間委託し経費削減に努力し、健全な運営です。

【質問】 上水道事業会計は節水傾向や給水人口の減少のなかで黒字要因は何か。

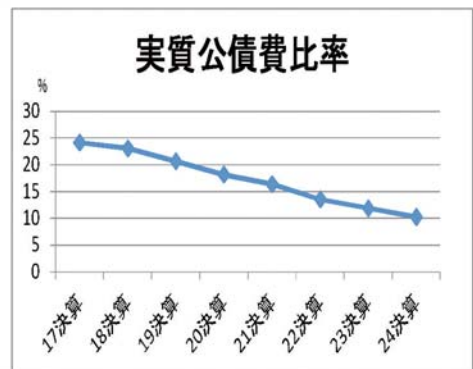
【答弁】 経費の節減や給水接続工事件数の増加による。

【質問】 水道使用料の未収金回収の現状は。

低下を続ける

実質公債費比率

辰野町の実質公債費率は年々低下し、24 年度決算では、10・3%となりました。実質公債費比率は、町の借金（地方債）の元利償還金の合計が基準財政規模（特定財源等を除く）に占める割合を示すもので、財政状況を見る重要な指標となっています。



【答弁】 累計総額は 1, 924 万円となっており、2 名の滞納整理体制で精力的に回収を進めている。

【質問】 公共下水道水洗化率は。

【答弁】 今年は 92・7%と 13 ポイント向上した。要因は職員の訪問による接続要請が功を奏した。

地域情報告知システム

特別会計

告知システムに移行された年でもあり、旧施設の撤去工事に多額な経費が支出されました。使用料収入が 1, 745 万円と少なく、基

金からの繰入 9, 467 万円を充当しており、基金の枯渇が懸念されます。普及推進や今後の対策の検討を至急行うよう町長に要望書として提出致しました。

以上決算 8 議案は全員一致で可決しました。

条例審査

■ 地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備について

本議案の条例改正については、延滞金の計算方法を、地方税の規定に準じて、整備したいとするものです。

3 議会だより

「各種手数料及び税の延滞金の徴収」に係わるもので、延滞金として現行14・6%を9.3%に、1ヶ月以内は現行7.3%を3%にそれぞれ引き下げたいとするものです。国内銀行貸し出し金利に連動しており、平成26年1月1日より正式に法制化されるとの説明です。また公共下水受益者負担金、温泉料金等にも準用されます。過酷な延滞金であり、引き下げを行い納税者の支援の面からも納税推進上からも歓迎すべきとし、委員一致して可と決しました。

● 請願審査

■ 長野地方裁判所松本支部に於ける労働審判の開設に関する請願書

提出者
長野県弁護士会
会 長 諏訪 雅頭
紹介議員 堀内 武男

この請願は解雇や給料の未払いと言った事業主と労働者との間の労働に関するトラブルを地方裁判所で労働審判として迅速・適正か

つ実効的に解決することを目的とするものです。中南信地域の住民が長野市まで出向くことは不便で、あきらめる人もあり、司法サービスの公平性の見地から、長野地方裁判所松本支部において早急に労働審判の取り扱いを開始するよう国に要望して欲しいとしたものです。

地域に於ける司法制度が利用しやすく住民のための司法となるようにとの願いでもあり、特段の問題もなく国へ要望していくべきとの意見が出され、審査の結果全員一致で採択し、意見書を提出することに決しました。

☆ 意見書（内容抜粋）

一、長野地方裁判所各支部において、労働審判事件の取り扱いを開始するとともに必要な裁判官及び裁判所職員の増員並びに施設整備を行うこと。

二、長野地方裁判所松本支部においては、早急に同事件の取り扱いを開始すること。

● 町長への要望事項

今回の決算審査を通じて課題として挙げました2件について町長に要望書を提出し答弁を得ました。

要望1・辰野町地域情報報告システムの普及推進強化

答弁 安心・安全のシステムづくりのため、告知をメインに整備してきたが、現在800台が未利用で在庫になっている。一人暮らしの老人や、見守り対象の世帯、防災無線の難聴地域等に対し、安価ないしは無料での配置について年度内に結論を出す。

要望2・荒神山公園の第五次総合計画の推進とその早期実現に向けて窓口の一本化

答弁 荒神山公園に対する懇談会を何度か行い、その経緯を踏まえて今年度中に具体的な基本計画を作っていく方針であり、それは都市計画決定時に定めた基本計画を踏まえた必要な修正と変更を伴うものである。建設水道課の方で窓口を設けるのが自然で必然性もあると判断している。

● 決算に関する現場視察をしました



王城山防災行政無線デジタル化工事

- 防災行政無線王城山中継局改修、及びデジタル工事
 - 湯舟PC配水池整備事業、築造工事
 - 平成24年度社会資本整備総合交付金事業町道西ヶ丘線工事
 - ほたる童謡公園旧1号ほたる水路改修工事
- 以上の4ヶ所の事業執行状態の視察を行い、施設の竣工状況に問題の無い事を確認いたしました。

議員発議意見書

道州制反対の意見書を提出しました

全国町村議会議長会より「道州制導入に反対する意見書」提出について依頼があり、委員会としての取り扱いや国に対し発議していくべきかについて議論しました。

道州制導入後の具体的な形も示されておらず、住民と行政との距離が格段に遠くなることや、町村は事実上合併を余儀なくされ、住民自治が衰退する恐れがあり、道州制導入は反対とし、議員発議にて意見書提出を

☆ 意見書（内容抜粋）

効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではありません。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の増強に繋がるものであると確信します。よって、我々辰野町議会は道州制の導入に反対します。

委員会審査から

福祉教育常任委員会

- 平成 24 年度一般会計決算審査・特別会計等決算審査
- 条例審査 ●要望書 ●現場視察



●一般会計決算審査

9 月 11・12 日委員全員出席のもと、担当課長担当職員に詳細な説明を求め決算審査を実施し、全議案を全員一致で認定しました。

歳出

■民生費（構成比 26・5%）

下飯沼沢、富士塚、平出樋口の介護予防センターの改修工事、備品購入が 4、102 万円で行われました。桜町介護予防センターが 3 千万円で建設され、桜ヶ丘いきいき交流センターが 3、309 万円で建設されました。

ほたるの里世代間交流センターの土地購入と建物取壊撤去が 1、283 万円で行われました。

質問 地域振興基金積立金が 2 億 6 千万円余となっているがその用途は。

答弁 当初の元金は使えないが、利息については有効に使用したい。

■衛生費（水道費を除く）（構成比 13・6%）

質問 辰野病院への補助金の事態は。

答弁 補助金として約 3 億 3 千万円、投資・出資金として約 1 億 8 千万円となっている。

質問 太陽光発電システム設置補助金の件数は。

答弁 79 件（前年 75 件）で 1 件当り 13 万円余となっている。

■教育費（構成比 11・9%）

質問 学童クラブ運営が町営になるようだが準備状況は。

答弁 現在の運営と変更にならないよう配慮する。

質問 小中学校の耐震補強は順調に進んでいるか。



辰中トイレ改修

答弁 昨年度は川島小学校体育館で実施し、残っているのは西小体育館のみである。

質問 辰野中学校の大規模改修は。

答弁 第 1・第 3 校舎トイレ及び屋外トイレの改修を実施した。

質問 町民会館管理修繕工事の内容は。

答弁 エレベーター設置及び舞台音響整備改修、舞台吊物設備改修を実施した。

●特別会計決算審査

■国民健康保険特別会計

歳入合計 22 億 5、238 万円から歳出合計 22 億 3、847 万円を差引くと 1、391 万円の黒字となりますが、前年度繰越金が 1、215 万円、基金取崩しが 1 千万円などを考慮すると実質赤字となります。

歳出の大半を占める保険給付費 15 億 3、280 万円をいかに下げるかが今後の課題です。一人当たりの医療費を下げるにはどうするかについて議論しました。

また、この制度が崩壊しないよう国は本気で取り組むべきと指摘しました。

■国保診療所特別会計

診療所は羽北地区の第一診療所と川島診療所があり町内開業医への委託により診療と往診を行っています。歳入合計 899 万円、歳出合計 844 万円でした。国保会計から 100 万円の繰入金があります。

■後期高齢者医療特別会計

この制度は平成 20 年に創設されたもので、町が高齢者の年金より保険料を徴収し、広域連合に納付しています。歳入合計が 2 億 3、207 万円、歳出合計が 2 億 3 千万円で 207 万円を翌年度に繰越しました。一般会計より 4、764 万円が繰入れられています。

■辰野病院事業会計

総収益 18 億 2、061 万円、総費用 18 億 976 万円と純利益 1、085 万円となりました。入院患者数は新病院への移転があったた

め昨年7・8・9・10月は減少しましたが、11月以降は増し目標を達成しています。

総合診療科医師が1名増員され常勤医師8名体制となりましたが、医師および看護師の不足問題は続いています。

質問 一般会計からの繰入金総額はどのくらいか。

答弁 5億1,179万円となっている。今後数年は同程度が必要となるが、その後は減る予定である。

質問 訪問看護ステーション事業の実態は。

答弁 収入は2,164万円に上り実質黒字になっている。医療を支える必要な事業と考えている。

質問 電子カルテ導入計画は。

答弁 平成27年度導入で検討している。近隣の他病院との連携には欠かせないシステムで、患者受け入れに威力を発揮すると考えている。

質問 指定管理者制度導入についてどうなっているか。

答弁 十分な検討が必要で、他病院の成功事例の研究は重要と考えている。

■介護老人保健施設(福寿苑)

特別会計

歳入合計2億6,397万円、歳出合計2億6,170万円で227万円を翌年度に繰越しました。一般会計からの繰入金は5,198万円でした。

開所以来20年が経過し民間事業者による大型小型の類似施設の開設が相次ぐなか、平成26年8月をもって本施設は閉苑です。

■介護保険特別会計

歳入総額17億3,211万円、歳出総額17億3,030万円で181万円を翌年度に繰越しました。前年度に比べ歳入は83%増、歳出は6.3%増となっています。在宅サービスおよび施設サービスの利用件数は3.6%増となりました。

●条例審査

■桜ヶ丘いきいき交流センターの設置及び管理に関する条例

■下田いきいき交流センターの設置及び管理に関する条例

■

する条例

ほたるの里世代間交流センターの設置及び管理に関する条例

以上3件の条例制定について審査し委員全員一致で可と決しました。各施設の利用度向上にむけての活動が必要で、各地域で利用の題材を探すネットワークづくりが大切との意見がだされました。



世代間交流センター

■辰野病院料金条例の一部を改正する条例

一部の病室使用料を値下げ変更するもので、その理由は北側に面していること、病室が狭いことなどです。審査の結果、全員一致で可としました。

●町長への要望事項

今回の決算審査を通じて課題として挙げました4件について町長に要望書を提出し答弁を得ました。

要望1. 平出保育園の新築計画があるなかで「子育て支援センター」「病児保育」などを合わせた複合施設を検討すること。

要望2. 福寿苑の後利用について早期に検討に入ること。

要望3. 辰野病院の過年度の未収金について、法に則した適切な整理すること。

要望4. 西小学校の小体育館の耐震工事が予定されるなかで、新築も選択肢のなかに含め、費用対効果を見定めること。

要望5. 年度内に方向を定めたい。

●決算に関する現場視察をしました

9月13日委員全員で昨年度予算執行された次の3カ所の現場視察を実施しました。

○桜ヶ丘いきいき交流センター

国庫補助により全額支給され、神稲建設、古村建設設備、デンコーにより建設されました。太陽光発電5.3kw/hが取付けられ災害時緊急避難場所としても利用されます。

○小野宿問屋修繕工事

国庫補助金202万円を受け1,035万円の費用で、松田建設が請負いました。小野宿の歴史を語る資料として、また観光資源として保全するものです。

○辰野中学トイレ改修工事

国庫補助2,808万円、起債6,200万円によりヤマウラ、元木工電舎、ノザワにより改修されました。木材を前面に表現した快適な環境に仕上がりました。

常任委員会レポート

総務産業常任委員会

国道整備の課題を探って

7月9日国道153号線、北大出・宮所・小野の現況の問題について、朝7時から地元区長、関係者同席のもと、現場視察を行いました。

伊北インター周辺から羽場交差点に掛けての渋滞緩和の早期整備が必要との地元関係者からの声を踏まえて実施したものです。

また、宮所周辺は、車道・歩道が非常に狭く危険な状況で、大型車両の通過の際には、歩道に乗り上げることもあることから、宮所周辺の国道も歩いて視察しました。早期整備が必要と実感しました。

また、小野地区は、車道・歩道が非常に狭く、歩行者の信号待ちスペースがないこと、小野宿の保全、生活道路の安全確保などから迂

回路整備の必要性を痛感しました。

新たな観光をめざして

宮田村にオープンした「オヒサマの森」を7月30日に視察しました。空き店舗を国の補助金で全面改修し住宅介護施設を主体とした複合施設です。辰野町においても空き店舗が増えるなか、利用方法を学ぶため視察しました。

また、駒ヶ根市の幅広い視点でシルクをとらえた体験型博物館である「駒ヶ根シルクミュージアム」を視察しました。そこには、まゆで手作り体験コーナーやバイキングレストラン「菜々ちゃん」などがあり、地元の主婦の方達が作る地物食材のバイキングメニューは、来客が多く成功しているとのこと。辰野町においても新たな観光を生み出していく必要を感じました。

福祉教育常任委員会

「たのめ科」で成果

両小野学園を視察

7月22日、3年目を迎えた両小野小中一貫教育の現場を視察しました。まず小学校を訪ね熊谷校長、赤羽教頭から、既存の施設を活用した施設分離型の一貫教育の機能や枠組み、そして特色ある教育活動10項目についての説明を受けました。

地域を題材とした新領域「たのめ科」は、地域の自然・歴史・文化・人々の生き方を考える学習や自分の生活方を考える学習の時間として、各学年50〜55時間を充たしているとのこと。また、6学年は中学への接続学年と位置付け、中学校登校（約1ヶ月）などを通じて小中学校職員による指導が行なわれいわゆる『中1ギャップ』の解消に寄与しているとのこと。

一方、中学では、池上校長、宮島教頭のお話から『たのめ科』を通して「自分の良さや可能性を発見する学習」

の効果は着実に向上しており、同時に学力面においても全国及び長野県の正解率よりいずれも10ポイント以上高いとのこと。これらのことから小中一貫教育は着実に成果が上つていくことを実感しました。町内の他校にも広げていくことが課題だと感じました。

小規模ならではの成果も

川島小教職員と懇談

10月1日川島小学校を訪問し、小野校長他4名の先生方と懇談会を行ないました。現在の児童数は25人（4学級）ですが、次年度以降は10数人で推移するとのこと。

お聞きした内容では「児童数確保の努力は町民会館で説明会を行い、来ていただけの足の確保がネックにまでなっています」「川島小の子ども達は小規模校ゆえにとってもシッカリしており、中学でもリーダーシップを発揮している子、成績も良好だと聞いています」「不登校児

童はいません。むしろ学校が楽しくて仕方ないという子どもばかりです。こんな学校があっても良いと私たちは考えています」「ただ学校運営という点では同じことを求められるので、例えば給食費の負担増の心配や建物の老朽化などの課題もあります」とのことでした。

小規模校における教育実践については、否定的な意見もあるなかで、子どもと教師がいきいきと学校生活をおくっている川島小学校の実践は、とても参考になりました。



川島小教職員との懇談

25年度

一般会計補正予算(第3号)

質疑応答

(抜粋)

総額1億1千万円余の増額補正となった平成25年度一般会計補正予算について、以下の質疑の後、全員一致にて可決しました。

質問 大豆・麦等生産体制確立推進事業補助金の具体的な内容は何か

答弁 「ほたるの里たつもの」においてコンバイン1台、ドリルシーダー1台を設置するための補助金です。

質問 スマートインターチェンジ関連の調査事業について、補正提案した緊急性は何か。

答弁 スマートインターチェンジについては、リニアの駅が飯田に決まり、上伊那構想として近隣の市町村で取り組みが始まっており、辰野町としても対応を急ぐ必要があると判断した。

質問 調査事業についての今後の説明方法と日程はどのようにしているのか。

答弁 事業の説明について

は、竜東振興会などに説明していききたい。また、成果を生かすために勉強会を立ち上げたい。

質問 調査事業の成果はすべて町民に公開するべきと考えるがどのように考えているのか。

答弁 成果品については基本的に町民に公開し、勉強会を立ち上げていく計画です。

質問 ウォーターパーク調査業務委託料に関して、何を何のために調査するのか。

答弁 ウォーターパークを休止してから長い年月が経ってしまい現在の施設、機械が使用できるか否かも不明となっているためそれらについて調査し、今後の施設の再利用をどのようにしていくのかについても併せて検討する事業内容です。

質問 信州型コミュニケーションスクール運営委員会委員報酬に関して、どのような学校運営をめざしているのか。

答弁 辰野町は、県下でポランティアによる学校運営への協力等地域と学校の連携が最も進んでいる町の一つであり、県教育委員会か

ら是非とも本事業を受けてほしい旨の要請もあった。県下4つのモデルケースとして、地域と学校の連携体制の一層の推進のための事業展開を考えている。

議会活性化に向けて

委員会活動開始

町議会では、議会改革を推進するため、議会活性化委員会を構成し、9月から活動を開始しました。活性化委員会には議員全員が参加し、宮下副議長が委員長に就任しました。

委員長のほか、議長、常任委員長、議会運営委員長の合計5名が委員として就任して、基本方針や当面する具体的な取り組みなどの原案を策定し、議員全員で決定して具体化を図り、実施にあたっては、議員の中からその都度担当する座長を選任し推進します。

当面、11月15日開催の議会報告会に關しては船木議運委員長、広報に關しては根橋広報委員長をそれぞれ座長に選任し、推進することになりました。

臨時議会

8月7日

一般会計補正予算

雨沢、一ノ瀬の両介護予防センター改修工事、橋りょう台帳整備・橋りょう修繕計画策定業務委託料、商工業振興資金預託金の増額など補正額5,537万4千円
総額8億2,313万6千円
(全員賛成)

専決処分の報告

町が損害賠償した対物、財物事故の費用
合計14万794円

編集後記

異常気象の今年の夏でしたが、コメの作柄も平年並みとなり安心の農家も多かったかと思えます。辰野町特産のマツタケも豊作で、あちこちから美味しそうな匂いが漂い、食欲の秋を感じます。

議会も実りある改革に向けて取り組みを開始しました。議会だよりもより充実したものを目指していますが、その一つである、一般質問の掲載が、今号では準備の都合で間に合わず、次号からの掲載となってしまうました。心よりお詫び申し上げます。

第5回 議会報告会のお知らせ

第5回「議会報告会」を下記のとおり開催します。お誘い合わせでお出かけください。

日時：平成25年11月15日(金曜日)
午後6時30分から午後8時
場所：辰野町役場第6会議室(庁舎2階)
特別テーマ：有害鳥獣対策、学校教育問題

